

第 4 回別海町自治推進委員会 概要

開催日時：令和 5 年 2 月 17 日（金）午後 1 時 30 分から午後 3 時 00 分まで

開催場所：別海町役場 2 階 201 会議室

出席委員：鈴木秋弘、武田隆、吉野朋博、高橋智美、菅野笑子、平澤珠美

（欠席委員 大森和男、大橋正汰、佐藤栄子、今井加奈）

<会議次第>

1 開 会

2 議 事

議題 1 前回の振り返り

議題 2 協議テーマの具体的な改善点の検討

（1）令和 4 年度において町長に提出する意見書のテーマを絞る

（2）べつかい協働のまちづくり補助金（公募型）の内容を精査

3 その他

4 閉 会

1 開会

2 議事

議題 1 前回の振り返り

資料 1 を用い、前回の会議の内容について説明。

意見・質問

なし

議題 2 協議テーマの具体的な改善点の検討

資料 2、3、4 を用い、令和 4 年度において町長に提出する意見書のテーマを絞るため、前回までの委員会で出た意見のまとめ、現在のべつかい協働のまちづくり補助金（公募型）の内容について説明。

【委員から出た意見】

（1）令和 4 年度において町長に提出する意見書のテーマを絞る

・ 中間組織の強化については町内会、今既存の組織が中心となって、ある程度まとめているというのが 1 番ベタだろうという話をしたと思うが、別海町全体のまとめ役である連絡協議会とのすり合わせがされている訳ではないので、すり合わせが重要と思っている。今 1 番近道をするならば、こういう形が 1 番望ましいとは思いますが、相手方の意向も聞いていないので、できればその反応を聞いてみたいというのはある。

・ 1 の中間組織の強化は大事だと思うが、例えば 3 の行政情報の発信方法であるとか、4 の意見集約の方法で若い人に参加しやすくとか、意見を若い人たちから集めやすくしてここに繋がっていくのかと思う。1 年目の提言としてはいきなり中間組織の強化というよりも、提言しやすいところでしたらいいのでは。5 の議会オンライン傍聴・地域懇談会の実施は委員会内で深い議論は行われていないということだが、議会の方でオンライン傍聴みたいなものも考えているということも聞いている。6 のまちづくり補助金制度の見直しはやったほうがいい。

・ 3 の行政情報の発信方法で、公務員ドットコムというサイトで、全国の市町村のホームページの中でどこが見やすいかというランキングが出ていて、北海道は訓子府町のホームページがランクインしていた。実際に見ると最初に出た 1 ページ目でどんな町なのか一目でわかり、携帯の方も全部同じような形態でとても見やすかった。デザインマークを使っていて分かりやすい。それから漢字にひらがなを振るボタンがあり、それを押すと漢字に全部ひらがなが振られ、子どもから大人まで見るができる。それから音声読み上げもあった。比べると別海町はありとあらゆるものがまず 1 ページ目にあるので、情報が多く、下までスクロールしないとわからない。訓子府町は 1 ページ目が画面 1 つで、その中から情報に分かれている。別海町はトップページを少し変えるだけでも見やすくなれば、掘り下げて見てもらえるのではと思う。

・ 町内会の催し物の際、商工会と J A 等も携わって連携しながら進めていくと若い人たちが増えて、町の活性化にも繋がっていくのではないかな。

・ 町内会活動は協力してくれる人が少なくなっている。若い人の参加があまりない中で、公民館の社会教育主事が、色々相談に応じたりコーディネートをし、ある程度リーダーを作りながらアドバイスをしするというのができると思う。町でもっと強化してもらって、公民館事業の中で色々な組織のリーダー育成と合わせて相談に乗ってやる。色々な組織があって、組織が独自に運営すると言っても、実際にリーダーになった人は、本当に人を動かすことでやっとなで、事務手続き等はほとんどできない。それを 2 年なり 3 年なり指導しながら教えていく。最終的には自らがまちづくりをするための努力をしなければならない。それまでの色々なアドバイスは知識を得た人たちがやらなければならないのでは。そうすることで孤立するリーダーを失うことなくきちっと育てていける。常に側にはそういう協力者がいるんだという環境作りをしなければ、リーダーも組織も育たないし、その地域のまちづくりも進まない。

・ 6 まちづくり補助金制度の見直しについて、上限回数補助金を受けたあとは自力でやっていくというのはかなり難しい。寄付金というのは立ち上げた時にいただくので、その後ずっといただけるものではなく枯渇していく。町外では同内容の事業を、地域福祉事業推進補助金というもので期限なく受けているところもあり、ぜひ別海町でも作っていただきたい。

・ 素晴らしい事業を継続してやるということであれば、その補助金について永続的にもらえるような形は必要。

・ 新たな事業を立ち上げた方が、募集期間が過ぎていてまちづくり補助金を使うことができなかった。まちづくり補助金だけではないが、いつでも使えるような補助制度も必要。

・ 金額を下げたとしても、申請のハードルを下げて申請に慣れていない一般の人でもなに

かあればすぐ補助がでるというものがあればいいのでは。

- ・継続してやっていこうとする事業に対しては、補助金の上限回数後の先を見据えて、別海町の中にある企業等との橋渡しや連携の声掛けを町にしてほしい。

(2) 協働のまちづくり補助金（公募型）の内容を精査

- ・対象外経費について、寄付は対象外にしてほしくない。事業実施団体の飲食、報酬についても、1日がかりのイベントや事業の際の弁当も対象にしてほしい。
- ・「同一事業について、他の別海町による補助金を受けていないこと」という文言がわかりにくいので改善が必要。

(事務局)

- ・お配りしてる資料のテーマの中で、行政情報の発信のLINEで受け取れる仕組みの構築ですとか、意見集約の方法で、匿名意見の募集の試験的運用、これまでの中で出てきた発言でありますけども、今日は特にお話ないですが、これも意見としては言うべきだという認識で整理させていただくような形でよろしいですか。

(委員一同)

- ・了承

3 その他

特になし

4 閉会